



世帯数	5,981戸
人口	14,385人
(平成29.11.1現在)	

# 第1回 松本マラソン 寿地区縦断



## 選手からの感想



記念すべき  
第1回の松本  
マラソンにラン  
ナーとして参加  
させていただきました  
ました。ポラン  
ティアの皆様の

くことを願います。

【小池町会 花村 芳樹】

マラソンボランティアとして  
参加した筑摩野中学校  
3年生からの感想

サポートと途切れることの無い  
沿道の皆様の声援、その中でも  
寿地区を通過する区間の声援  
は他の地区を圧倒し、多くのラ  
ンナーの励みになったと思いま  
す。お蔭様で私も自己ベストを  
更新し無事に完  
走する事ができ  
ました。

今後、松本マ  
ラソンが多くの  
ランナーに愛さ  
れる全国規模の  
大会に育ってい



【川村 雄一郎】

マラソンのボランティアは  
今回が初めてだった。長野マ  
ラソンの応援をする中で、給  
水所の光景を見たことはあつ  
たが、実際にやってみると選  
手の必死さ、緊迫感が伝わっ  
てきた。『走る』ことを楽し  
む人、一生懸命なにかをし  
ている人は格好良いなと思っ  
た。少しだけランナーの力に  
なれた気がする。これからも  
ボランティアに積極的であ  
りたい。

私は松本マラソンの給水  
ボランティアに参加しまし  
た。最初は「大変そうだな」  
としか思っていませんで

した。ですが、  
走ってくる方  
に「がんばっ  
てください！」  
と声をかけた  
り水を出すな  
どの仕事をし  
たりしている  
うちにとても  
やりがいを感じました。「あ  
りがとう」と言ってくくださる  
方もいて、とてもよい気持ち  
になりました。初めて会う人  
との接し方など社会に出るた  
めに必要なことをたくさん学  
ぶことができました。それを  
今後に生かしていきたいながらポ  
ランティア活動には積極的に  
参加していきたいです。今回、  
松本マラソンに参加して本当  
に良かったと思いました。



【遠藤 美侑】



他にも前田  
美月さん、中  
村想吾さん、  
山本綾さん、  
武居翔映さん  
から感想をい  
ただきました。

## マラソンボランティア からの感想

第2給水所は、寿体育協  
理事の皆さんを中心として、



小柳津商店前を通過する選手たちの様子

「良い対応ができるか」等ドキ  
ドキワクワクしながら給水所  
の準備を進めました。  
そして、選手達が続々と給  
水所通過。まさに『戦場』の  
状況でした。しかしポラン  
ティアの皆さんが濡れながら  
も、必死に約1時間近く給水  
の手伝いをし、時折選手達に  
声援を送りながらさわやかな  
対応をしていました。  
任務終了後、市責任者の  
方のまよめの話聞きなが  
ら、ボランティアの皆さん  
から自然に拍手が沸き上

平成29年寿地区住民運動会は  
雨天により開閉会式・大抽選会を  
実施し中止となりました。



がつていました。  
秋晴れの中、皆さんが「任  
務をやりきった感」をもって、  
清々しく終えられた大会だっ  
たと感じました。  
【寿体育協会理事長  
久保田 陽介】

## 寿体協野球部新ユニフォーム!



野球部がユニフォームを新しくしました。

# わがまちこの人



今回豊町町会からは昔の町会の様子も知っていらつしやる、飼馬 勝美(かいば かつみ)さんに昔の豊町町会について教えていただきます。

私が中学校1年生の時、家族でこの団地に引っ越してきました。その頃の町会は市営住宅、県営住宅関係なく活気にあふれており、住民一丸となつてまとまっていた記憶があります。

町会行事に関しては、三九郎や花火大会を実施したり、市営住宅、県営住宅に分かれて綱引き大会、12時間ソフトボール大会、ボウリング大会、はりこ祭り、盆踊り、納涼祭などを実施していました。納涼祭では現在顧問を務めていらつしやる元町会長が中心となり、生ビールや焼き鳥の販売があつたり、輪投げやおみくじなどの屋台も出店しており大盛況でした。すべてにお

いて住民同士の交流がものすごくありました。

寿地区全体の行事では、駅伝大会優勝、球技大会総合優勝(卓球種目では今でも優勝しています)住民運動会優勝など輝かしい成績を収めていました。

あの頃はどちらかと言うと親が必死になつていた記憶があります。大会が近くなつてくると毎日練習しており、親同士が喧嘩になるくらい熱心でした。子供の参加も多く、特に当時の5、6年生は意欲的だったことを覚えています。

現在の町会では、少子化や高齢化問題(特に県営住宅)を強く感じます。私も58歳になり今は2人の孫がいます。昔のように若い世代が一丸となつて町会を盛り上げていくてくれれば素晴らしいと思います。これからも出来る限り、町会への協力を続けていきたいと思ひます。

現在は豊町町会副体育部長としてご活躍頂いていらつしやる飼馬さんの、ますますのご活躍を期待します。

【館報委員 下平 圭子】

宝くじの助成金により  
百瀬公民館の備品を  
整備しました!



百瀬町会では市町村振興宝くじ(サマージャンボ)の収益金を財源としている公益財団法人長野県市町村振興協会の地域活動助成事業を活用し、公民館を幼児から高齢者まで安心して集まれるコミュニケーションの場とするため、机、いすを購入しました。老朽化した机やいすを新しくすることにより、住民の町会行事参加が促進され住民の絆が深まり、地域の活性化が図られます。早速10月28日の町会サロン(茶々)でお披露目し、使いやすくなった机といすはスタッフ、参加者に好評でした。【百瀬町会長 神澤 勝則】



### 整備した備品

- 机30台 ●いす90脚
- 台車5台 ●テーブル(昇降式)4台

## 子どもの居場所づくり事業への取り組み

今年度寿田町町会が取り組んでいる子どもの居場所づくり事業は、松本市の行う事業への参加です。町会では高齢者への取り組みは逐次成果をあげています。次代を担う子どもたちへの取り組みとして何をしたらと考えていた矢先でしたので早速市の担当者の話を聞き町会の事業計画にも取り入れ事業化のための準備に取り掛かりました。寿台地区で行っている「ハッピー食堂」の視察や他地区の情報聞き取りを行いました。4月中旬説明会に参加し最終的に参加することになりました。第1回は4月30日に行いました。



田川高校の生徒さん



学習中の様子

子どもたちの話を聞き、名前を付ける、ルールを決める等々について次回に提案することになりました。

【寿田町会長 久保田 幸康】

町会では町会役員・PTA・高齢者クラブ・ボランティア等の協力により動き出していきます。さらに多くの皆さんの力を借りて子どもたちの将来を明るくするための手助けをしていきたいと笑顔で取り組んでいます。



笑顔で食事中



6月の献立